別紙様式

研究計画及び研究指導計画書

年　　月　　日作成

年　月　日更新

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学生番号 | |  | | | |
| 学生氏名 | |  | | | |
| 入学年月 | | 年　月 | | 学年 | 年 |
| 専攻・コース | | 専攻・　　　　コース | | | |
| 研究題目 | |  | | | |
| 主指導教員名： | | | 副指導教員名：  指導補助教員名： | | |
| 研究計画  （研究目的、概要、学会発表，論文作成等を学生が記入） | | | | | |
| 研究倫理教育の修了証番号：　　　　　　　（受講日：　　　　年　　月　　日）  教員確認　　　　年　　月　　日  今年度履修予定科目　教員確認　　　　年　　月　　日 | | | | | |
| 研究指導計画  （研究計画を踏まえ、当該学生の指導方法、内容、計画等を指導教員が記入） | | | | | |
| 学生確認　　　年　月　日 | | | | | |
| 特記  事項 |  | | | | |

※研究指導教員と学生が、相談・打ち合わせの上、本計画書を作成してください。

※研究の進捗状況等に応じて、計画の見直しを行うことができます。

※研究倫理教育は３年毎の受講が必要です。

別紙様式

研究計画及び研究指導計画書（修士1年記入例）

2022年5月20日作成

年　月　日更新

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学生番号 | | 2DS99999 | | | |
| 学生氏名 | |  | | | |
| 入学年月 | | 2022年4月 | | 学年 | 修士1年 |
| 専攻・コース | | 芸術工学専攻・環境設計コース | | | |
| 研究題目 | | 都市における公園の利用と周辺施設の関係 | | | |
| 主指導教員名： | | | 副指導教員名：  指導補助教員名： | | |
| 研究計画  （研究目的、概要、学会発表，論文作成等を学生が記入）  都市環境における公園の機能、魅力や雰囲気を周辺の施設による情報や空間の集積等による特徴の重なりとして考え、利用者の行為観察および公園の周辺施設の調査から、公園と周辺施設との関係を明らかにすることを目的とする。当初は警固公園を対象として手法について検討する。研究成果は芸術工学会、日本建築学会等で発表する。 | | | | | |
| 研究倫理教育の修了証番号：AP0000871930　（受講日：2022年　4月　28日）  教員確認　　2022年　5月　15日  今年度履修予定科目　教員確認　　2022年　5月　15日 | | | | | |
| 研究指導計画  （研究計画を踏まえ、当該学生の指導方法、内容、計画等を指導教員が記入）  観察調査および分析について、週1回程度のゼミで研究の進行を随時確認し、進捗状況に応じた指導を行う。警固公園における結果がまとまった段階で、対象を広げるか詳細調査を行うかを相談する予定とする。  ひとまず夏までに調査した結果を元に、9月に芸術工学会の大会発表に投稿する予定で進め、11月の発表に向けてプレゼンテーションの指導を行う。秋頃の調査・分析については12月に日本建築学会の九州支部研究発表会に投稿する予定で進め、3月の発表に向けてプレゼンテーションの指導を行う。  その後、専攻内の発表会に向けてプレゼンテーション方法等について指導する。  学生確認　　　2022年　5月　20日 | | | | | |
| 特記  事項 |  | | | | |

※研究指導教員と学生が、相談・打ち合わせの上、本計画書を作成してください。

※研究の進捗状況等に応じて、計画の見直しを行うことができます。

※研究倫理教育は３年毎の受講が必要です。